

2024 年度 (令和 6 年度) 学校評価自己評価表

鷹取中学校区	校番 4	福山市立霞小学校
最終更新日		2024年(令和6年)4月1日

I 福山市

ミッション	福山に愛着と誇りを持ち,変化の激しい社会をたくましく生きる子どもを育てる。
ビジョン	「福山100NEN教育」の基本理念のもと,各中学校区・学校が「21世紀型“スキル&倫理観”」の育成に向けた特色ある教育課程を編成し,日々の授業を中心として評価・改善を進めながら,子どもたちの確かな学びを実現している。

II 中学校区

前年度学校関係者評価の主な内容 ・各校不登校児童生徒に地域と連携をした取組を行っている。 ・子どもたちが「わかる・できる」と思える授業づくりを目指して欲しい。 ・地域を大切に思う児童生徒を育成して欲しい。	児童生徒の現状 ・基礎学力はおおむねついているが,思考力に課題がある。 ・人間関係づくりが苦手な子どもが増えてきている。 ・長欠・不登校の子どもが一定数いて取組をしているが改善が難しい。	育成する力 (21世紀型“スキル&倫理観”) 知識・技能 課題発見・解決力 主体性	めざす子ども像 (義務教育修了時の姿) 気づき 考え 行動する 子ども	中学校区として統一した取組等 ・子どもたちが「わかる・できる」と思える教育活動の推進 ・SDGsをふまえたふるさと学習を通して地域に貢献できる子どもの育成 ・個性や能力が発揮できる学校組織づくり
---	--	---	---	--

III 自校

ミッション 鷹取中・光小と連携して「21世紀型“スキル&倫理観”」の育成を図ることを通して,地域に誇れる学校を創造する。	育成する力 (21世紀型“スキル&倫理観”) 知識・技能 課題発見・解決力 主体性	めざす子ども像 ・課題の解決に必要な知識及び技能を身に付けている。 ・身近な問題における課題を発見し,よりよい解決方法を考え実行し,次の学習につなげることができる。 ・相手の気持ちを理解しながら意見を伝え合うを通して,自分の考えを深めたり,広げたりすることができる。	主体性 ・自己の個性や興味・関心等に基づいて,自分の意思をしっかりともち,よりよい生活になるように行動することができる。 ・自分のよさや個性を知り,自分の言動が相手や他者へ影響を及ぼすことを理解し,行動することができる。
学校教育目標 自他を尊重し,主体的に学び続ける児童の育成	研究 テーマ 内容等	互いを尊重しながら主体的な学びを生み出す授業の創造 ～思いや考えをもち,表現できる子ども～ ・教材研究(学習展開) ・思いや考えをもち,表現できる子どもの姿の追究	
現状 ＜児童＞ ○自分の考えを根拠をもってノートや話し合いで表現する活動を通して,自分の考えが深まったと感じる児童が増えた。(児童アンケート 自分の考えを表現し,自分の考えが深まった…100.0%) ○自己肯定感が高まった児童が増えた。(児童アンケート 自分にはがんばったことがある95.4%) ○体育レクや学級レクを通して,運動やスポーツに進んで取り組む児童が増えた。(児童アンケート 運動やスポーツを月に1回以上している…94.9%) ●文章構成や言葉の使い方など,相手を説得する表現ができる児童は少ない。 ●総合的な学習の時間や生活科などで学んだことと地域との関わりをとらえきれていない児童が一定数いる。(児童アンケート 地域のよさを伝えたり自分ができることを考えたりしている…84.5%) ●運動する楽しさを実感することができず,運動やスポーツに興味がない,あまり好きではない児童が一定数いる。 ＜授業＞ ○つきたい力を意識した教材研究を行い,授業内で授業の学びが深まる発問の工夫を行うことで,児童の考えを深めることができる授業づくりに取り組んでいる。 ●児童の読解力や表現力をつけるために,学習展開や児童への支援を工夫する必要がある。	めざす授業の姿 ・子どもが生き生きと学び,じぶんの考えを根拠をもって表現する授業 ・子どもが学び続けることができる授業		

IV 目標・取組及び評価指標等の設定と評価

福山市立霞小学校

年 目	中期経営目標	重 点	分 類	短期経営目標	目標達成に 向けた取組	評価指標	中間評価(10月1日)				最終評価(2月末)			
							□指標に係る 取組状況	70% 評価	達成 評価	改善方策	□指標に係る 取組状況	70% 評価	達成 評価	総合 評価
2	子どもたちが「わかる・できる」と思える教育活動の推進	★	新規	・自分の成長を実感することができる教育活動を推進する。  ★児童アンケート 「学校生活を通して自分の成長を実感することができる」児童の割合100.0%	①視点を与え、自分の学習をふり返る場を設定する。  ②児童のつまずきや課題と教科の系統性をもとにした授業展開や手立てを行う。  ③自分で決めた目標を、達成するために取り組んでいることを教師と一緒にふり返ったり価値づけたりする場を設定する。	①児童アンケート 「自分の考えを、ノートや発言等で表現することができた。」100.0% 「授業を通して、自分の考えが深まった。」80.0%以上  ②単元末テスト(国語、算数)通過率85.0%以上 算数の思は80.0%以上 ②新体カテテスト(立ち幅とび・ボール投げ)の記録が前年度の同学年の平均値を超える 12グループ中10グループ  ③児童アンケート 「自分で決めた目標を達成するために努力している。」児童の割合100.0% 「自分で決めた目標を達成することができた。」児童の割合85.0%以上								

2	SDG s をふまえたふるさと学習を通して地域に貢献できる子どもの育成	継続	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住み続けられるまちづくりを目指し、地域の一員として自分にできることを考え実践する子どもを育成する。</li> <li>★児童アンケート「地域の一員として自分にできることを考え実践している」児童の割合90.0%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①授業を通して、地域と関わる機会を設定する。</li> <li>②学校全体であいさつ運動に取り組む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①児童アンケート「地域の一員として自分にできることを考え実践している」児童の割合90.0%</li> <li>②児童アンケート「先取りあいさつをすることが出来る」児童の割合90.0%</li> </ul>						
2	個性や能力が発揮できる学校組織づくり	見直し	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個性を大切にし、やりがいを感じながら、個々の能力を十分に発揮できる学校風土をつくる。</li> <li>★教職員アンケート「やりがいがある」「個性を認められている」の肯定的評価90%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の強みを生かした取組を実践する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員アンケート「仕事にやりがいを感じている」の肯定的評価90%</li> <li>・教職員アンケート「本音を気兼ねなく発言でき、自分の個性が認められている」という実感がある」の肯定的評価80%</li> </ul>						

[プロセス評価の評価基準]		[達成評価の評価基準]		[総合評価の評価基準]		
評点	評価基準	評点	評価基準	評点	評価基準	
5	取組の目的に対する共通理解が顕著に認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決が十分に図られた。	5	目標を大幅に達成し、十分な成果をあげた。	5	100%以上の達成度	十分に目標を達成できた。
4	取組の目的に対する共通理解が認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決が概ね図られた。	4	目標を概ね達成し、望ましい成果をあげた。	4	80%以上100%未満の達成度	概ね目標を達成できた。
3	取組の目的に対する共通理解が一定程度認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決がある程度図られた。	3	目標をある程度達成し、一定の成果をあげた。	3	60%以上80%未満の達成度	ある程度目標を達成できた。
2	取組の目的に対する共通理解が認められ難く、状況の変化、問題が生じた際の協同的な課題解決があまり図られなかった。	2	目標を下回り、成果よりも課題が多かった。	2	40%以上60%未満の達成度	あまり目標を達成できなかった。
1	取組の目的に対する共通理解が認められず、状況の変化、問題が生じた際の協同的な課題解決が図られなかった。	1	目標を大きく下回り、成果が認められなかった。	1	40%未満の達成度	目標を達成できなかった。